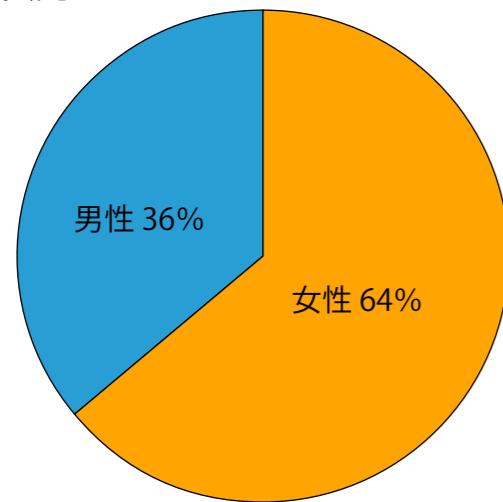


illustration

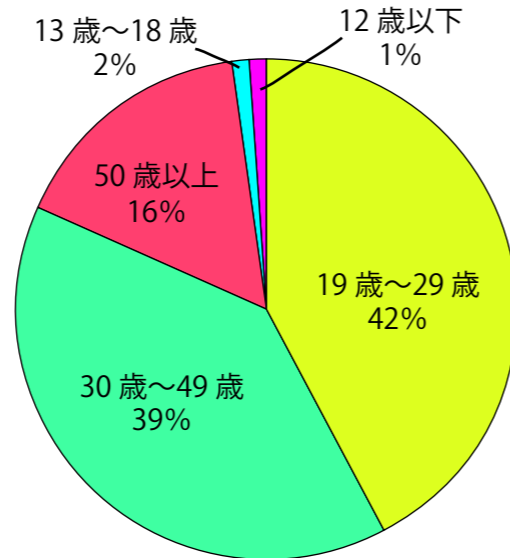
MEDIA DATA

数字は% (数値は変動する可能性があります)

男女比



年齢別読者層



ビジュアル・コミュニケーションの明日を考える / 玄光社の刊行雑誌

COMMERCIAL PHOTO [月刊]

フォトテクニク [月刊]

ビデオSALON [月刊]

CM NOW [隔月刊]

illustration [季刊]

CL [季刊]

「イラストレーション」への広告出稿のご注文・お問合せは

TEL:03-3263-8477 FAX:03-3264-8495

玄光社広告総代理店

株式会社 サロン・エージェンシー

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 4-1-5 玄光社ビル 1F

http://www.genkosha.co.jp/

E-mail:salon_ag@genkosha.co.jp

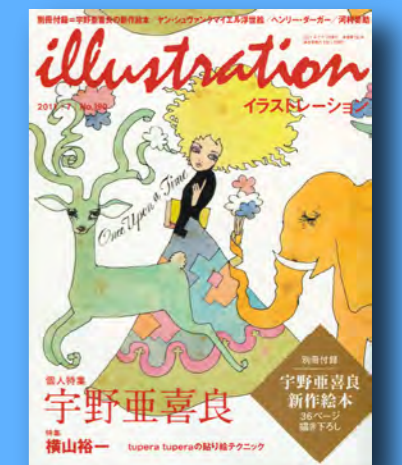
illustration

イラストレーション

季刊：1月、4月、7月、10月の18日発売



媒体資料



30年の歴史を持つイラストレーション専門誌 大判化・デザイン刷新で見応えアップ、誌面もますます充実



No.192 表紙

「イラストレーション」が季刊になります。

「イラストレーション」は1979年の創刊以来、数多くのイラストレーターの作品を紹介して参りました。国内だけでなくとどまらず、海外の作家にも広く目を向けています。また、アートディレクターやブックデザイナーとイラストレーターが共同で行うクリエイティブワークにも着目してきました。

2008年の9月号より判型をA4変型判(280mm×210mm)へと変更。大判化によって作品の掲載サイズを大きくすると同時に、特集記事のボリュームを増やす等、大幅な誌面の刷新を図ってきました。また、2012年3月号からは季刊化することに併せてデザインを刷新。イラストレーション以外の絵画や絵本等も表現も積極的に取り上げて行きます。生まれ変わってますます充実した「イラストレーション」をご期待下さい。

「イラストレーション」広告出稿のメリット

- プロのイラストレーター、プロを目指す人、絵が好きな一般の方まで、幅広い読者層
- 新人からベテランまで、イラストレーターの作品や情報を数多く掲載
- 出版、広告、Web等、イラストレーションが活躍する様々なメディアの情報を網羅
- 誌上コンペ「ザ・チョイス」から多数のイラストレーターを輩出
- イラストレーションの制作技法や画材、ビジネスまで実用記事も充実
- 編集者やデザイナー等、イラストレーターを探しているクリエイターが読んでいる



画材を取り上げたタイアップ記事の事例 (No.173 / ホルベイン工業「DUO」)



専門誌ならではの情報の広さ、濃さ

イラストレーション専門誌だからこそその情報網の広さと内容の濃さが、本誌の最大の強みです。読者はイラストレーターを目指す学生やアマチュア、プロとして活動している人、仕事でイラストレーションを使用するメディア関係者、さらには絵に関心を持つ一般の方々です。これらの読者からの様々なニーズに応えるべく、プロになるためのノウハウから、期待の新進作家、最前線で活躍するイラストレーターの仕事まで、幅広く情報を揃えています。

プロへの登竜門「ザ・チョイス」

1981年から続けている誌上コンペ「ザ・チョイス」は、プロのイラストレーターの登竜門として評価をいただいています。日比野克彦、荒井良二、伊藤桂司、渡辺宏、ヒロ杉山、松尾たいこ、長崎訓子等、これまでに数多くのイラストレーターを輩出しています。

また、1年分の入選作品の中から年度賞を決定し、展覧会「ザ・チョイス大賞展」も毎年開催しています。ザ・チョイス大賞展は、その趣旨に賛同する数多くの企業や関係者の協賛・後援をいただいている運営しています。東京だけでなく大阪や名古屋にも巡回しています。



第28回ザ・チョイス大賞 / 岸野衣里子さんの作品

HOW TO DRAW 等の実用記事が満載

プロのイラストレーターを目指す読者に役立つ情報や記事を提供することは、本誌の重要な役割です。第一線のプロの技法を詳しく紹介する「HOW TO DRAW」をはじめ、絵の描き方や画材に関する記事、仕事を獲得するための売り込みやプロモーション術、ビジネスや法律の知識等、プロに必要な情報を提供しています。この他に、イラストレーションやデザインを学びたい人に向けたスクールや講座の情報も掲載しています。

これらの実用記事をベースにしたタイアップ広告も可能です。クライアント様が読者にアピールしたい商品や内容に応じて、イラストレーターを選んでご提案する、独自の情報網を持つ本誌が得意とするところです。



HOW TO DRAW (No.181 / なばたとしたか「キャラクターを描く」) こうした実用記事と連動したパブリシティも可能です。



アートの学校の情報を取り上げたタイアップ記事の事例 (No.173 / 創形美術学校)